

令和8年度第2回都城北諸県地域医療構想調整会議議事録

1 日時

令和8年7月2日（木） 午後7時～午後8時45分

2 会場

都城市上川東3-14-3 都城保健所 多目的室

3 出席者

(1) 各団体等

公益社団法人都市北諸県郡医師会 会長 田口 利文

公益社団法人都市北諸県郡医師会 副会長 福島 義隆

公益社団法人都市北諸県郡医師会 病院部会長 飯田 正幸

一般社団法人都城歯科医師会 会長 中崎 幸司

一般社団法人都市北諸県郡薬剤師会 会長 落合 晋介

公益社団法人宮崎県看護協会 都城・北諸県地区理事 谷口 光恵

宮崎県保険者協議会（都市保険年金課長） 河津 好計

宮崎県保険者協議会（宮崎銀行健康保険組合 常務理事） 池田 一水

都市健康部長 岩崎 日花里

三股町町民保健課長 下西 志浩

都市・三股町在宅医療・介護連携推進協議会

（宮崎県介護福祉士会）会長 木場 圭一

都市・三股町在宅医療・介護連携推進協議会

（公益社団法人都市北諸県郡医師会）会員 矢野 成昭

※ 欠席：公益社団法人都市北諸県郡医師会有床診代表 仮屋 純人

独立行政法人国立病院機構 都城医療センター 院長 濱田 浩朗

(2) アドバイザー

宮崎県医師会 常任理事 落合 秀信

(3) 事務局

都城保健所 所長、総括次長、技術次長、総務企画課長、総務企画担当、
宮崎県福祉保健部医療政策課

4 内容

(1) 議長選出

要綱第4条の規定により、都城市北諸県郡医師会 田口会長を議長に選出。

(2) 議事録署名人選出

要綱第7条第2項の規定により、議事録署名人に都城市健康部長の岩崎氏及び
三股町町民保健課長の下西氏を選出。

(3) 議題①病床設置希望について（資料4－1～4－5）

（事務局）

資料4－1に基づき、第8次医療計画における病床整備状況を説明する。本医療圏の基準病床数は2,233床であり、これに対し既存病床数は2,189床である。医療計画上は44床の不足が生じており、この範囲内で新たな病床設置が可能となる。ただし、地域医療構想上の2040年の必要量と比較すると既存病床は過剰の状態にあり、今回の増床審査にあたっては地域のニーズに真に合致するか厳格に審査する必要がある。整備方針の基準としては、地域に必要とされる機能を充実させるものであること、令和8年度末までに確実に開設できる進捗度の高い計画であること、急性期病床の場合は直近の利用率が概ね80%以上であることを条件としている。

個別の医療機関の経営状況について協議されているため非公表

【結果】協議の結果、4医療機関の増床計画について「同意」された。

(4) 議題②有床診療所の病床削減について（資料5－1、5－2）

個別の医療機関の経営状況について協議されているため非公表

【結果】協議の結果、2医療機関の病床削減について「同意」された。

(5) 報告事項①第8次医療計画の中間見直し及び新たな地域医療構想の策定について（資料6）

（木村主任主事）

第8次医療計画は令和6年3月に策定されたが、3年ごとに調査・分析を行う規定に基づき、今年度中間見直しを行う。特に5疾病6事業や在宅医療・介護の構築状況を評価し、必要に応じ計画を変更する。

合わせて「新たな地域医療構想」の策定を開始する。現行構想は2025年をターゲットとしていたが、新構想は85歳以上人口が増加し生産年齢人口が急減する「2040年とその先」を見据えたものとなる。外来・在宅医療、医療介護連携に加え、今回から「精神医療」も包含される。地域医療構想は今後、医療計画の一部から「上位概念」として位置づけられる予定であり、本年度は構想区域（医療圏）の設定について議論を深めていただく。

(6) 報告事項②宮崎県医療資源調査・分析支援事業における令和7年度データ分析結果報告（資料7）

（木村主任主事）

松田晋哉学長らの分析チームによる結果を報告する。当圏域では、生産年齢人口が急減する一方で、高齢者需要は2040年頃にピークを迎える。特に入院需要は2030年がピークだが、慢性期ケアを要する後期高齢者の絶対数は2045年まで増加するため、施設介護や在宅の需要は今後も拡大する。完結率は一般病床77.9%だが、療養病床は63.1%と低く、隣接する鹿児島県等への流出が目立っている。救急車による搬送入院の予測では、高齢者の急変リスク増加により、人口減少下でも救急需要は2020年当時の水準を上回り続ける見込みである。

（落合アドバイザー）

緻密なデータだが、これは現場を知らない統計学者が出した数値である。現場の医師が持つ「肌感覚」と乖離する部分もあるはずなので、鵜呑みにせず、あくまで叩き台として現場の声を反映させた検討をすべきである。

(7) 報告事項③新たな地域医療構想における構想区域の設定について（資料8）

（木村主任主事）

現在の地域医療構想は2025年を見据えたものであるが、新たな構想は人口構造の変化や働き方改革等の課題に対応するため、2040年以降を見据えたものとなる。

効率的な医療提供体制と県民アクセスのバランスを整理するため、現行の二次医療圏（構想区域）のあり方を検討しており、県内各所からは「現行の7区域維持」「6区域への再編」「4区域への統合」「日南串間区域の分割」など、地理的特性や高速道路事情を踏まえた様々な意見が寄せられている。

今後は医療と介護の連携、在宅医療を加えた構想となるため、疾病や事業ごとに柔軟かつ重層的な区域設定を進めることとしている。

（落合アドバイザー）

都城の地域は地域内完結率が高いが、今後は隣の西諸や、道路事情で比較的近くなった串間などへのいわゆる高度急性期の搬送なども検討の中に入ってくる。また、逆に療養病床の流出が高いという面もあるため、県境を越えた隣接医療圏との連携も今後検討課題になる。従来ではない枠を超えた幅広い視点での検討をお願いしたい。

(8) 報告事項④かかりつけ医機能報告について（資料 9）

（木村主任主事）

「治す医療」から「治し支える医療」を実現するため、本年 1 月から 3 月に全病院・診療所を対象に実施した報告結果の概要について。本制度は、地域における医療と介護の繋がり現状を確認し、身近な医療機関が専門性に応じて連携・強化を図ることを目的としている。

報告内容は、日常的な診療を総合的に行う「1 号機能」と、時間外診療・入院支援・在宅医療・介護連携等を担う「2 号機能」に分かれている。今後は、この報告結果から得られたデータに基づき、地域でかかりつけ医機能を確保するための具体的な方策を本調整会議等で協議していく予定である。次回（9 月～11 月頃）の会議では、課題感の共有や解決策の検討に向けた議論を行いたい。

(9) 全体質疑・意見交換

（委員）

2040 年という遠い将来の目標は誰がどう決めたのか。また、宮崎市への患者流出（96 名）は当圏域に三次医療機関がないことが原因であり、本来県が整備すべき課題だ。流出している患者の属性や搬送理由（二次救急が含まれていない等）を精査し、データを出してほしい。

（木村主任主事）

2040 年を見据えた方針は厚労省の検討会で議論されている。流出の詳細については、現在申請中の NDB データを活用し、属性や搬送理由を紐づけて分析する予定だが、データの提供まで 1 年ほど要する見込みである。

（委員）

医療圏の設定を市町村区切りで考えるのには限界がある。鹿児島県曾於地区から都城への流入や、高速道路（志布志道路）開通によるアクセスの変化など、実際の患者の動きに基づいた柔軟な線引きが必要だ。県境や市町村の枠にとらわれない区域設定の資料を作成してほしい。

（木村主任主事）

国からも線引きに固執しない方針が出ており、隣県との調整は不可欠と認識している。私自身も各医療機関を回り実態把握に努めているところ。案としていただいておく。

（議長）

急性期拠点病院を圏域にいくつ置く想定か。また、高度医療を担う拠点病院を指定する場合、県は医師確保や診療科の配置まで責任を持って関与してくれるのか。

（木村主任主事）

拠点病院の数は未定である。人材確保は新たな地域医療構想の柱の一つであ

り、今年度策定する医師確保計画と連動させて検討していくが、現状医師の配置は未定。

(議長)

高齢者救急の最大課題は、夜間の検査体制（放射線技師不足等による CT 撮影不可など）だ。現在は基幹 3 病院が交代で支え、後方へ搬送する連携を模索している。また、かかりつけについて、市民の中でかかりつけの先生がいないことへの不満を持っている人はあまりいない。当地域は夜間急病センターが機能しており、市民の満足度も高い。杓子定規ルールではなく、地域に合った医療のやり方をこちらから提案させていただきたい。

(木村主任主事)

情報をいただき、次回の協議で実態を反映させていきたい。

(10) 閉会

(落合アドバイザー)

新たな病床整備計画や増床については、地域のニーズや機能分化を考慮した適切な審議が行われた。今後の地域医療構想の議論にあたっては、提示された統計データが地域の実情と乖離している可能性も踏まえ、現場の声を反映した具体的なデータ要求を行うなど、積極的な検討が必要である。また、高齢者救急における時間外の集約化と後方連携の推進は、地域医療を維持する上での最優先課題である。一方で、膨大な検討事項に対し県のスケジュールは非常にタイトであり、限られた調整会議の時間のみで議論を深めることには限界がある。十分な協議を尽くすためにも、必要に応じて部会の設置などを検討し、実態に即した議論を重ねていくべきである。

以上